

初めての沖縄

※2012年の沖縄旅行の原稿です。

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田 浩敬

3月某日、今回は初めて飛行機に乗って沖縄へ行ってきました。以前から兵庫頸髄損傷者連絡会の事務局長の宮野さんから“沖縄旅行へ行かないか？”とお誘いをいただいていたので楽しみにしていました。以前から宿泊は経験していましたが、飛行機は全く未経験で“移動はどうするのか？”“飛行機のシートへどうやって座るのか？”“手続きはどうするか？”分からない事だらけだったので今回は飛行機の中や旅先での出来事をお伝えできればと思っています。

沖縄旅行前日です。キャリーバッグの中に必要なものをチェックシートに書き出して少しずつ準備します。必要なものは様々です。“着替え”“デジカメ”“コンタクトレンズ”“綿棒”“目薬”“点鼻薬”その他にS字フックや褥瘡予防で就寝時に使用する除圧パット、カテーテルの接続部分等を清潔に保つ為に使用する清浄綿、などなど普段の生活でも常に使っているものが沢山あります。旅行の準備は楽しいですが忘れ物の無いようチェックは欠かせません。一つずつ確認しながらキャリーバッグに詰め込んでゆき準備完了です。後は明日に備えて眠るだけです。

旅行当日の朝

空港へ集合時間に間に合うように、いつもより早く準備を行います。顔をタオルで拭いてから着替えて車椅子へ移ります。それから歯磨き、ひげ剃り、朝食を済ませ忘れ物が無いか最終確認をして車に乗り込み空港へ向かいます。3月はまだまだ寒くて、空港に着いて外へ出るとまだ吐く息が白いです。沖縄の気候は行った事が無いので分からない事が多いのですが、沖縄なのだから行けば暖かいのだろうと言う期待を抱きながら空港内に入って行きます。待ち合わせ場所で宮野さんと出会い少し時間がたってから今回、共に旅をする米田さんも合流です。

皆がそろった所で搭乗手続きを行います。主に電動車椅子の取り扱い方や注意点について受付で聞かれます。電動車椅子は荷物と一緒に航空便で送られるので丁寧に扱ってもらうように伝え

ます。手荷物のチェックを済ませてから手押しの車椅子に乗り換えて飛行機内まで移動します。機内まで移動用の手押し車椅子は、背もたれが肩甲骨の下辺りまでしかないので、体幹が維持できない私の体はとても不安定です。ベルトで固定して体が倒れないように従業員の方に支えてもらいながらゆっくり移動して行きます。機内までの移動は今回初めてだったので少し大変でした。従業員の方に体を支えてもらう場所や車椅子を押してもらうスピード等、自分がどのようにして欲しいか伝える事で、車椅子を利用していても飛行機を使ってもっと旅行が出来るのだと思いました。

一般の方と同じ座席に座るのですが僕の場合は比較的、座席を保持しやすく座りやすかったです。人工呼吸器を使用している米田さんも大変そうでしたが、なんとか座席へ乗り移る事が出来ました。いよいよ離陸です。離陸時にかかる圧力は少しジェットコースターに乗っている様な感覚にも似ています。初めて乗る飛行機は緊張もあつたのですが、機内の雰囲気や小さな窓から見える景色も少し楽しむ事が出来ました。那覇空港に着いて電動車椅子が航空便で届くのを待ちます。



那覇空港の様子

従業員の方達が来ているアロハシャツや空港内に飾られている花々、乗客の雰囲気は楽しみに満ちているようで自分が沖縄にいる事を実感します。電動車椅子が無事に届いて不具合無く作動する事を確認し手押しの車椅子から乗り移ります。全員がいる事を皆が確認して昼食です。沖縄

だけ展開しているハンバーガーチェーン店でお昼にする事にしました。お腹もすいている事もあって、とてもおいしかったです。

昼食を終えて事前に手配をしていたレンタカーの到着を待ちます。ですが手配をしていたはずの福祉車両のうちの1台が来ないので。福祉車両2台来るはずだったのが1台しか来ません。手配をされた宮野さんがレンタカー屋さんと電話で交渉されているのですが時間が過ぎてゆきます。皆も困り果てて路頭に迷っていると車を用意する事が出来る事になり皆一安心です。

福祉車両に乗り込みナビを宿泊するホテルにセットして出発です。ちなみに私がこれからの2泊3日間で利用する車はワンボックスタイプのファミリーカーです。那覇空港を出発してまず沖縄自動車道を目指します。沖縄の車道は道幅が広くて交通量も多かったです。土地勘が全くないのでナビに頼るしかありません。高速インターに着き沖縄自動車道を走ります。那覇市内は家々が密集していてコンクリートで出来た建物が多いように感じました。独特な雰囲気の中にも所々見られる南国を思わせる木々の緑が沖縄らしさを感じさせます。沖縄自動車道を走る事やく1時間、恩納村にある目的地のホテルに無事到着です。今朝は早く家を出発して長い道のりでしたが、ホッと一息つく事が出来ました。チェックインが終わって各々、自分たちの部屋へ向かいます。

私たちの部屋は4人部屋でとても広く電動車椅子でも全く不自由無く過ごせそうです。部屋の窓からは海が一望できてとても気持ちいいです。



部屋から見た沖縄の海

この日はあいにくの曇り模様でしたが晴れていればもっと気持ちいいのだろうと思いました。就寝時に使うものをキャリーバックから出したりして荷物の整理をします。車椅子に取り付けてい

る水分が無くなったので新しいものに付け替えて少しの間、部屋でゆっくり過ごしました。電動車椅子でも動きやすく快適に過ごせました。

しばらく経って皆で晩ご飯を食べに行く事になりました。沖縄県内で展開しているステーキ専門店へ向かいます。ホテルを出発して30分ほどで到着です。お店の入り口には15センチほどの段差がありましたが、介助者3人で電動車椅子を少し持ち上げなんとか入店することが出来ました。電動車椅子は重かったと思います。皆に感謝です。皆が店内に入りテーブルや椅子を使いやすいよう店員さんに並び替えてもらって席に着きます。皆が少し落ち着いた所でメニューを見て選びます。どれもおいしそうで目移りします。私はサイコロステーキを選びました。



サイコロステーキ

それほどお腹もすいていなかったのですが、すべて完食する事が出来ました。セットだったサラダやスープもおいしくいただきました。介助者さん達もとてもお腹がすいていたみたいで、お腹いっぱい食べる事が出来たみたいで良かったです。

ホテルの部屋に戻って来て休憩してからベッドへ移り1日目は終了です。早朝からバタバタと忙しく過ぎて初めての飛行機もトラブル無く無事に乗る事が出来て充実した1日でした。

2日目

天候は曇りで少し肌寒いです。6時に起床してタオルで顔を拭いて除圧用のナーセントパットを取ります。足の運動も済んでウロバッグの尿も捨て車椅子に移乗します。私の場合は2人介助で1人が後ろから抱えてもう1人が足を持ち私も合わせた3人で息を合わせて乗り移ります。飛行機でも乗り移りはしていましたので大分慣れました。歯を磨いてからコンタクトレンズを入れてもらい朝食へ向かいます。ヴェュッフェ形式の朝食

なのですが沢山品目があってどれも美味しそうです。毎朝すこししか朝食を食べないのですが、いつもよりも多く食べてしまいました。皆も沢山食べてお腹いっぱいになったみたいで良かったです。2日目の予定は昼食に沖縄そばを食べに行ってその後、美ら海水族館へ行く予定ですが午前中、時間があるので琉球ガラスの工房へ行きます。予想以上にホテルの近くだったので移動が楽です。琉球ガラスは一つずつ手作りで暖かみがあります。私はオレンジ色や青色のグラスに目がいったのですが透き通った青はまるで沖縄の海のように綺麗でした。オレンジ色のグラスも夕日の色のように綺麗な色合いです。雰囲気が気に入ったのでオレンジ色のグラスをお土産に2つ購入しました。工房を見学してからホテルに戻りました。



ハートの形をした琉球ガラス

皆がそろった所で昼食を食べに向かいます。車で1時間ほどの所みたいで有名なお店らしく私も楽しみにしていました。本場の沖縄そばを食べるのは今回が初めてでカツオで取ったダシのスープに柔らかく煮込んだ豚の三枚肉が麺の上に乗っかっているのが特徴で美味しそうです。皆も美味しく頂けたみたいで私もお腹がいっぱいになりました。



昼食の沖縄そば

その後、水族館へ向かいます。昼食を食べた所からすぐ近くでした。館内は人が多くてなかなか前へ進めず、他のお客さんにぶつからないように電動車椅子を運転していくのは気を使い少し疲れます。しかし水槽内にいるジンバイザメの食事風景は迫力があり見応えがありました。



ジンバイザメの食事風景

この後にも予定はあったのですが、このままホテルへ戻って夕食を済ませました。2日目も朝早くから動き出した事もあって寝不足で疲れたのですが琉球ガラスをみて美味しい沖縄そばを食べ美ら海水族館に行って、沢山の新しい経験が出来る充実した1日が過ごせました。

最終日

初日と2日目は早く過ぎたように感じたので最終日もあつという間に過ぎるのだろうと思い、朝の食事を済ませます。部屋に戻って来て介助者さん達と雑談をしながら休憩です。帰る際も忘れ物の無いようにチェックします。家でも使っている除圧用パットやひげ剃り等々、忘れてしまうと不便です。キャリーバッグに荷物を詰め込み皆の部屋の様子も見させてもらいました。どのように過ごされているのか興味もありますし参考にさせてもらうこともあるかもしれません。

ホテルのチェックアウトを済ませて皆で記念撮影です。ホテルも無事に宿泊できて、また新しい経験が出来ました。最終日は首里城へ行く予定なので皆でホテルを出発します。

最終日の天気はくもりで少し雨も降っていて肌寒いです。まずは守礼門で記念撮影です。



守礼門で記念撮影

“思っていたより門が小さいかな…”が第一印象でした。次は園比屋武御嶽石門です。知らなければ通り過ぎてしまいそうですが世界遺産に登録されているみたいです。聞いたところによると、国王が各地を巡航する旅に出る際必ず拝礼した場所で、いわば国家の聖地の様です。首里城まで上っていき記念撮影をしました。初めての首里城でしたが車椅子でも見て回る事が出来ました。ですが一部は入れない場所もあったので次回、観光に来た時は見学できればと思いました。

その後、家族のお土産を購入してから皆で昼食を食べに施設内のレストランへ向かいました。今回の旅行最後の食事は沖縄らしい定番食が食べたいと思いゴーヤーチャンプルー定食にしました。沖縄で頂くゴーヤーチャンプルーはいつも食べているものよりも美味しく感じました。定食に付いていたスープもあっさりとしていて非常に頂きやすくこちらも美味しかったです。この昼食が沖縄で頂く最後の食事と思うと少し寂しい感じがしました。



昼食のゴーヤーチャンプルー

昼食を済ませて帰路に就く為、みんなで那覇空港へ向かいます。余裕を持って空港に着くはずでしたが私たちは出発ゲートの場所を間違えてしまって少し慌ただしくなっていました。ですがまだ時間はありましたのでお土産を購入して搭乗手続きを行います。行きと同様に車椅子はバックミラーや呼気スイッチ等の部品がとれてしまいそうな恐れのある箇所もあるので気をつけて取り扱ってもらいます。また電源やロックの仕方等の車椅子の扱い方も一緒に説明をして無事に運んでもらえるようにします。空港職員の方達には車椅子の取り扱い方を少しでも分かってもらえるように説明をする事が大事な事なのだと思います。

初日と同じように背後から1人、両足1人の合計2人で抱えてもらって飛行機までの移動用車椅子に乗せてもらいます。今回は2度目なのでスムーズに移る事が出来ました。そのまま機内の座席横まで移動してゆきます。そして車椅子へ移乗した時と同じように座席へ乗り移ります。飛行機の座席は少し体を覆う様になっていて体幹バランスを保持する事の出来ない私でも幾分快適に座る事が出来ました。座面にはエアークッションを入れて除圧をします。体は疲れていたのですが帰りの機内では一睡もする事無く神戸空港へ戻ってきました。神戸空港へ戻って来て車椅子が用意される間、少し待ちます。車椅子の準備ができてから無事に車椅子へ乗り移る事が出来ました。

今回は初めて乗る飛行機で沖縄旅行は不安と期待が入り交じっていたのですがとても楽しむ事が出来ました。色んな経験を積む事によって、より豊かに生活して行けるのだらうと思いました。

以上で今回の2泊3日の沖縄旅行の報告を終わります。最後まで読んで頂きましてありがとうございました。